

Honda 陸上競技部の小山直城選手が ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ シリーズⅢ チャンピオンを獲得

Honda 陸上競技部の小山直城選手が、「ジャパンマラソンチャンピオンシップ（以下、JMC）シリーズ シリーズⅢ[※]」にてチャンピオンを獲得しました。Honda 陸上競技部所属選手としては、初のJMCシリーズタイトル獲得となります。

小山選手は、2022年春にマラソンデビュー後、駅伝と両立をしながら、チャレンジを続けてきました。2023年は各主要大会で好成績を収め、2024年2月に行われた大阪マラソンでは、自己記録を1分以上縮める2時間06分33秒をマークするなど、確実に成長を遂げています。

日々の練習にひたむきに取り組み、ひとつずつ実績を積み上げてきた結果が、今回のチャンピオン獲得につながりました。日本トップクラスのマラソン選手へと成長した小山選手は、今後は世界の舞台へと挑戦していきます。

Honda はこれからも「スポーツ活動を通じて挑戦する人々を増やし、あらゆる人の人生を豊かにする」というビジョンのもと、夢の実現に向けてチャレンジするアスリートを応援していきます。

※ JMC シリーズ シリーズⅢ：選手強化とマラソン界の活性化を目指し、国内における公認マラソン大会の体系化を図ることを目的として、日本陸上競技連盟が2021年秋に創設した新たな仕組み。1つの年度を「期」、2期分を「シリーズ」として、2年間のシリーズ総合成績を争う。シリーズ総合成績は、JMCシリーズ対象大会における記録と順位をポイント化した「パフォーマンスポイント」の2大会分の合計得点で決定し、この2大会の合計得点を「JMCポイント」と言う。シリーズⅢは、2022年4月～2024年3月が対象期間となる

■小山直城選手のコメント

「このたび、JMCシリーズ シリーズⅢのチャンピオンになれたことをとてもうれしく思います。今シーズンは安定して高いレベルのパフォーマンスを発揮できました。この結果は、8月に控えるパリオリンピックに向けての自信となりました。シリーズⅢの対象大会では4レースに出場しました。北海道マラソンは夏の暑いレース、MGCは勝負のレース、東京マラソンと大阪マラソンは自己ベストを目指すレースと、さまざまなレースを経験できました。今後も失敗を恐れずにさまざまなレースに挑戦していきます。引き続き皆様のご声援をよろしく申し上げます」

■小山直城（こやま なおき）選手 プロフィール



生年月日：1996年5月12日（27歳）

出身：埼玉県

経歴：松山高校 - 東京農業大学

<主な戦績>

●2021年

- ・全日本実業団対抗陸上競技選手権 10,000m 7位（日本人1位）

●2022年

- ・東京マラソン 2021 22位 2時間08分59秒（初マラソン）
- ・仙台国際ハーフマラソン 2022 チャレンジレース 3位 1時間02分07秒（日本人1位）
- ・北海道マラソン 2022 11位 2時間14分20秒

●2023年

- ・東京マラソン 2023 15位 2時間08分12秒
（マラソングランドチャンピオンシップ（以下、MGC）出場権獲得）
- ・ゴールドコーストマラソン 2023 優勝 2時間07分40秒（大会新記録）
- ・MGC 優勝 2時間08分57秒（パリ2024オリンピック出場権獲得）

●2024年

- ・大阪マラソン 2024 3位 2時間06分33秒（自己記録更新）